



2025年3月9日(日)

## 小倉山&ザゼンソウ散策

Report By Kumamoto

あまり山では見かけない「ザゼンソウ」の群生地が塩山にあるとの情報で「小倉山(955m)ハイキング&ザゼンソウ散策」を企画した。当初、3月8日(土)を予定していたが、天候が悪く、翌日9日(日)に変更し、高橋雄さん、池戸さん、熊本の3名が参加した。

塩山駅からタクシーで玉宮ザゼンソウ公園へ行き、ザゼンソウの群落を見た後、小倉山(955m)に登り、最大標高点の上条山(996m)を越えてザゼンソウ公園に戻る周回コースの予定である。

今回のハイキングコースMAPは下図のとおり



ザゼンソウは仏像の光背に似た形の花弁の重なりが、僧侶が座禅を組む姿に見えることで名称の由来とされており、また達磨大師が座禅する姿に見たててダルマソウ(達磨草)とも呼ばれている。

9:10に塩山駅にタクシーを予約しており、熊本は各駅列車で、雄さん、池戸さんは特急あずさ3号に乗りこむ。



高尾駅を過ぎると、昨夜の残雪が線路際や山肌に見え、1000m 近い小倉山は積雪が予想されたが・・・



雄さん、池戸さんは 8:53、熊本は 8:59 に塩山駅に到着した。

レンタカーは何故か？ 3月の日曜は休日とのことで、やむなくタクシー乗継となった。



駅から 15 分程で目的地「玉宮ざぜん草公園」に到着した（¥2700-）。（9:15）

昨夜は雨・雪が降らなかったのか、雪の姿も全く見当たらなかった。

「玉宮ザゼン草公園」は玉宮地区を流れる重川支流の竹森左岸の小さな沢沿いにあり、小倉山山麓で、約 3000 株のザゼンソウが自生して、約 1 ヘクタールの広さに群生しているとのことだ。

イノシシなどの食害防止のため電線が指定エリアを囲んでいる。

ザゼンソウは 1975 年に山梨県の自然記念物、1995 年に塩山市（現甲州市）の天然記念物に指定されている。



ザゼンソウ群落地の入口で、左図の右側の沢沿いが群落地になっている。一面枯葉が覆っていて、同色のザゼンソウと見分けがつかなかったが、良く見ると小ぶり（8～10 cm）のザゼンソウがアチコチで咲いていた。





ザゼンソウは開花する際に肉穂花序（にくすいかじょ）で発熱が起こり約 25 度まで上昇する。そのため周囲の氷雪を溶かし、いち早く顔を出すことで、この時期には数少ない昆虫を独占し受粉の確率をあげているそうだ。今回は雪がなく左図の様な姿は見られなかった。残念！



約 30 分程ザゼンソウを鑑賞し、公園最上部から鉄柵を出て、小倉山への登山道に入る。（9:45）  
気温も上がってきており、これから小倉山への登りに備えダウンを脱ぎ、軽装になって準備万端。



今日は風もなく暖かだ。ゆるやかな登りをユックリ登るが、背中には汗が滲んできた。  
20 分程登ると・・・



前方が明るくなり、尾根道に出た。右：小倉山展望台と左：上条峠への分岐だった。（10:05）



尾根分岐から更に、15分急登を詰めると檜（展望台）が見えてきた。ここが小倉山山頂だ（955m）。



上空には青空が広がっていたが、遠方の山には雲がかかり、富士山や南アルプスの姿を見ることが出来ず、残念だった。（10:25）

ここまで、予定のコースタイムできている。まだ昼食には早い。下山は尾根分岐から往路のザゼンソウ群生地に戻る方法もあるが、我々は当初の予定通り、上条山（996m）の最高点を越え、上条峠から、ザゼン草公園に戻る周回コースをとった。



分岐を過ぎると、いくつかの小さなピークを越えるが、これが結構な急登だった。



今度は露岩した急登で両手を使って慎重に登る。



小倉山から 35 分歩き、11 時になった。登山道脇に良いスペースを見つけ、そこで昼食を取ることにした。  
まずは、雄さん持参の松竹梅の純米大吟醸で乾杯！旨い！  
20 分程昼食休憩をとった。



上条山山頂（996m）に 11:25 に到着。ここからの下山は上条峠から平沢集落に出て、玉宮ザゼン草公園に戻る





枯葉が厚く堆積した登山道をひたすら下る。登山靴が埋まって見えなくなるほどで滑り易い。



12:15に出発点の玉宮ザゼン草公園に戻ってきた。早速タクシーを呼んで、源泉かけ流しの「はやぶさ温泉」に向う。



アルカリ単純泉の美肌の湯で汗を流し休憩室に戻ると、庭の正面真ん中に富士山が顔を出していた。

60分程、入浴休憩し塩山駅に向かう。

塩山駅北口にある「甘草（かんぞう）屋敷」に寄る。



第3回えんざん桃源郷が開催中で、雛飾りと桃の花まつりが2/11~4/18の期間実施されており、甘草屋敷（旧河野家住宅）のひな飾りを覗いて見ることにした。（¥300-）



享保年間 (1716~) の年代物

上皇陛下生誕記念



15分ほど華麗で歴史を感じさせる雛人形に圧倒され甘草屋敷を後にした (14:00)



次は塩山駅南口の居酒屋「夢乃家」に移動し、本日の打上げで、先ずは、生ビールで乾杯！  
ツマミは馬刺し、豚もつ煮込み、自家製コンニャク刺身、ぬかづけ盛り合わせなど・・・



生ビールの次はどぶろく (アルコール9% ¥800) で、最後は当店自慢のほうとうで締める。



満腹になり、各駅列車で高尾へ・・・

今日は天候に恵まれ暖かく、珍しいザゼンソウの群生を見て、アップダウンの多い尾根の小倉山を歩き、源泉かけ流しの温泉で汗を流し、華麗な数えきれない雛人形に圧倒され、最後はどぶろくとほうとうで締め、貴重な経験をした一日でした。

このコースは高齢者には変化のある低山ハイクとして推薦出来そうだ。